

## 2018年5月期 第2四半期決算概況

証券コード：3501  
(東証一部上場)



# 目次

■ 表紙	1	■ 2018年5月期 連結見通し	13
■ 目次	2	■ 2018年5月期 事業セグメント別見通し	14
■ 2018年5月期第2四半期 (2017/6～2017/11)連結業績	3	■ 株主配当について	15
■ 連結業績の事業セグメント別内訳	5	■ 第5次中期3カ年経営計画「2020」	16
■ インテリア事業	6	■ スマートテキスタイルの開発	19
■ 自動車・車両内装事業	7	■ 新規商材の紹介	20
■ 機能資材事業	9		
■ 連結バランスシート	10		
■ 設備投資・減価償却費	11		
■ 有利子負債	12		

# 2018年5月期第2四半期(2017/6～2017/11)連結業績

(単位:百万円)

	当第2四半期	前年同期	前年同期比増減		期初計画	期初計画比増減	
			(%)	(額)		(%)	(額)
売上高	49,195	47,334	3.9%	1,861	48,300	1.9%	895
営業利益	1,332	80	-	1,252	1,380	△3.4%	△47
営業利益率	2.7%	0.2%			2.9%		
経常利益	1,514	196	672.8%	1,318	1,490	1.7%	24
経常利益率	3.1%	0.4%			3.1%		
四半期純利益	872	23	-	849	780	11.9%	92
四半期純利益率	1.8%	0.0%			1.6%		

為替レート	当第2四半期	前年同期
(USD/JPY)	111.30	105.74

※ 当資料の四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を表している。

# 2018年5月期第2四半期(2017/6～2017/11)連結業績

売上高 **491** 億95百万円

前年同期 473億34百万円 計画 483億円

営業利益 **13** 億32百万円

前年同期 80百万円 計画 13億80百万円

経常利益 **15** 億14百万円

前年同期 1億96百万円 計画 14億90百万円

四半期純利益 **8** 億72百万円

前年同期 23百万円 計画 7億80百万円

## 外部環境

### ■ 国内景気

企業収益および雇用環境が堅調に推移したが、賃金の伸び悩みから個人消費は緩やかな回復に留まった。

### ■ 海外景気

米国に続き、欧州経済が回復傾向となったものの、米国の政策運営の不確実性に加え、地政学的リスクの高まりがみられた。

# 連結業績の事業セグメント別内訳

(単位:百万円)

売上高		当第2四半期	前年同期	前年同期比増減	
				(%)	(額)
	インテリア	17,027	17,086	△0.3%	△59
	自動車・車両内装	29,501	27,256	8.2%	2,245
	機能資材	2,592	2,907	△10.8%	△314
	その他	74	84	△12.0%	△10
	合計	49,195	47,334	3.9%	1,861

営業利益		当第2四半期	前年同期	前年同期比増減	
				(%)	(額)
	インテリア	124	263	△52.7%	△138
	自動車・車両内装	1,669	1,510	10.5%	159
	機能資材	242	156	54.7%	85
	その他	37	56	△32.4%	△18
	調整額	△741	△1,905	-	1,164
	合計	1,332	80	-	1,252

# インテリア事業

カーペットを中心にカーテン、壁紙等を販売

(単位:百万円)

	当第2四半期	前年同期	前年同期比(%)	前年同期比(額)
売上高	17,027	17,086	△0.3%	△59
営業利益	124	263	△52.7%	△138

## ■ 業務用カーペット

水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®(エコス)」の海外輸出がやや伸び悩んだ。また、国内市場では、オフィスビルや商業施設、ホテル向けの新築およびリニューアル案件の受注に注力したものの、大型案件が少なく、売上は前年同期を下回った。

## ■ カーテン

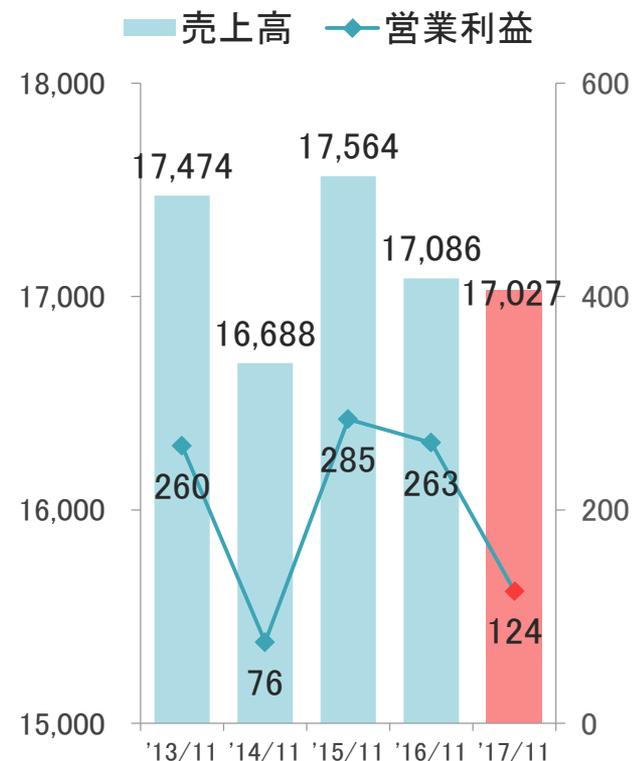
「mode S®(モードエス) Vol. 8」が好調に推移したものの、医療・福祉・教育施設向けカーテン「Face」は案件が少なかったことから伸び悩み、売上は前年同期を下回った。

## ■ 一般家庭向けカーペット、ラグ・マット

消費者の節約志向が依然として続いており、売上は前年同期を下回った。

## ■ 壁紙

「ルノンフレッシュプレミアム」、量産タイプの「ルノン・マークII」がともに堅調に推移し、売上は前年同期を上回った。



# 自動車・車両内装事業

(単位:百万円)

	当第2四半期	前年同期	前年同期比(%)	前年同期比(額)
売上高	29,501	27,256	8.2%	2,245
営業利益	1,669	1,510	10.5%	159

## 自動車内装事業

フロアカーペット、シート地、天井表皮材等、自動車内装材をトータルで販売

### ■ 国内

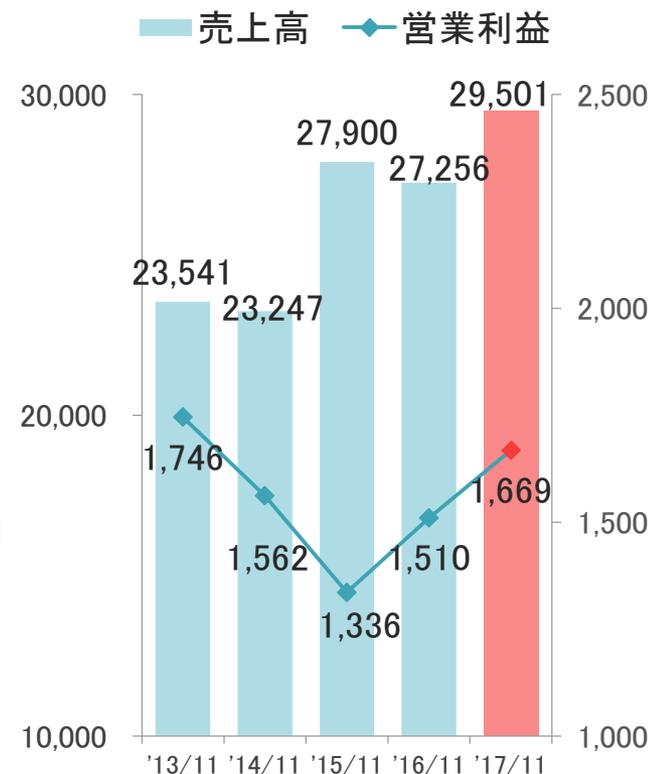
自動車販売が市場全体として堅調に推移し、売上が順調に伸び、特に新規受注した車種や、シートファブリック事業の新商材が好調となった。また、高級敷物の丹後緞通を使用した商材を新規受注したマット事業も売上を伸ばした結果、増収となった。

### ■ 海外

引き続き米国子会社STAが収支改善を進める一方、中国とタイでは、日系自動車メーカーが販売台数を好調に伸ばし、国内同様にシートファブリック事業が好調となった結果、売上は前年同期を上回った。

## 自動車内装事業全体

売上、営業利益ともに前年同期を上回った。



# 自動車・車両内装事業

## 車両内装事業

鉄道・バス・航空機・船舶にシート地やカーペット、リサイクル性に優れたシートクッション材「スミキューブ®」等を販売

### ■ 鉄道向け

新規の大型案件がなかったものの、新車案件やリニューアル改造工事の継続受注と床表示フィルムの新規受注により、売上は前年同期並みに推移した。

### ■ バス向け

大型バスのモデルチェンジ前の駆け込み需要の反動や、インバウンド向け需要の一巡から生産が落ち込み、売上は前年同期をやや下回った。

## 車両内装事業全体

売上、営業利益ともに前年同期並みとなった。

# 機能資材事業

機能性資材、ホットカーペット、独自消臭加工技術によるフィルター等の販売等、  
新たな分野で事業を展開

(単位:百万円)

	当第2四半期	前年同期	前年同期比(%)	前年同期比(額)
売上高	2,592	2,907	△10.8%	△314
営業利益	242	156	54.7%	85

## ■ ホットカーペット

販売数量を伸ばしたものの商品構成が変わり、減収減益となった。

## ■ 消臭・フィルター関連

空気清浄機および暖房機向け消臭フィルター、パッケージをリニューアルした家庭用脱臭・消臭剤Tispaシリーズ「香りでごまかさない 本当の消臭」が好調に推移し、増収増益となった。

## ■ 浴室向け床材

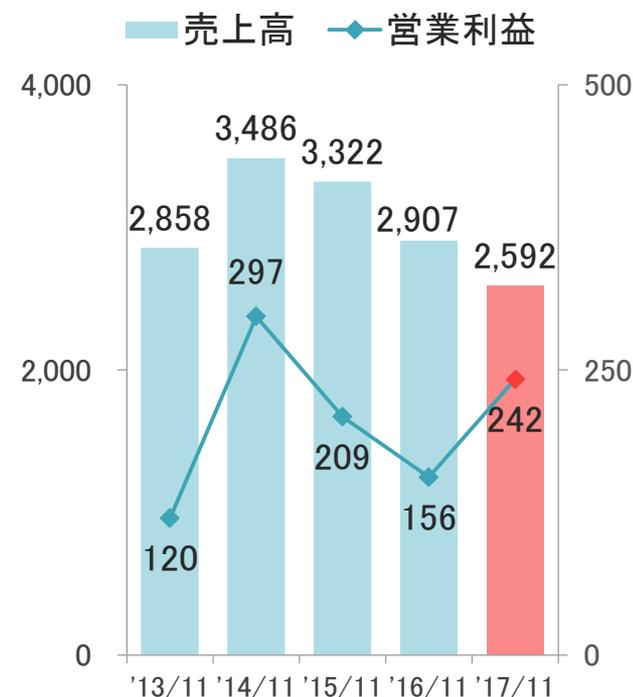
堅調に推移し、売上、営業利益ともに前年同期並みとなった。

## ■ 土木用資材、航空機向けカーペット

好調に推移し増収増益となった。

## ■ 中超住江 デバイス・テクノロジー株式会社について

2016年12月末に連結の範囲から除外した。



# 連結バランスシート

(単位:百万円)

	当第2四半期	前期末
<b>資産</b>	<b>92,441</b>	<b>90,254</b>
現預金	7,208	7,050
売上債権 ※電子記録債権含む	25,540	22,586
たな卸資産	16,547	16,545
その他の流動資産	3,539	4,752
有・無形固定資産	28,477	28,890
投資その他の資産	11,127	10,429
<b>負債</b>	<b>53,368</b>	<b>52,855</b>
仕入債務 ※電子記録債務含む	19,231	19,236
短期借入金	12,999	12,411
その他流動負債	4,581	4,571
長期借入金 ※社債含む	6,008	6,535
その他固定負債	10,546	10,101
<b>純資産</b>	<b>39,073</b>	<b>37,398</b>
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	10,875	10,266
自己株式	△ 363	△ 362
その他有価証券評価差額金	3,744	3,035
土地再評価差額金	7,797	7,797
その他評価・換算差額	457	341
非支配株主持分	4,355	4,113

## 売上債権

自動車内装等の販売が好調なこととホットカーペット事業の季節的な増加要因により、前期末比29億53百万円増の255億40百万円となった。

## 有・無形固定資産

減価償却が進んだことにより、前期末比4億12百万円減の284億77百万円となった。

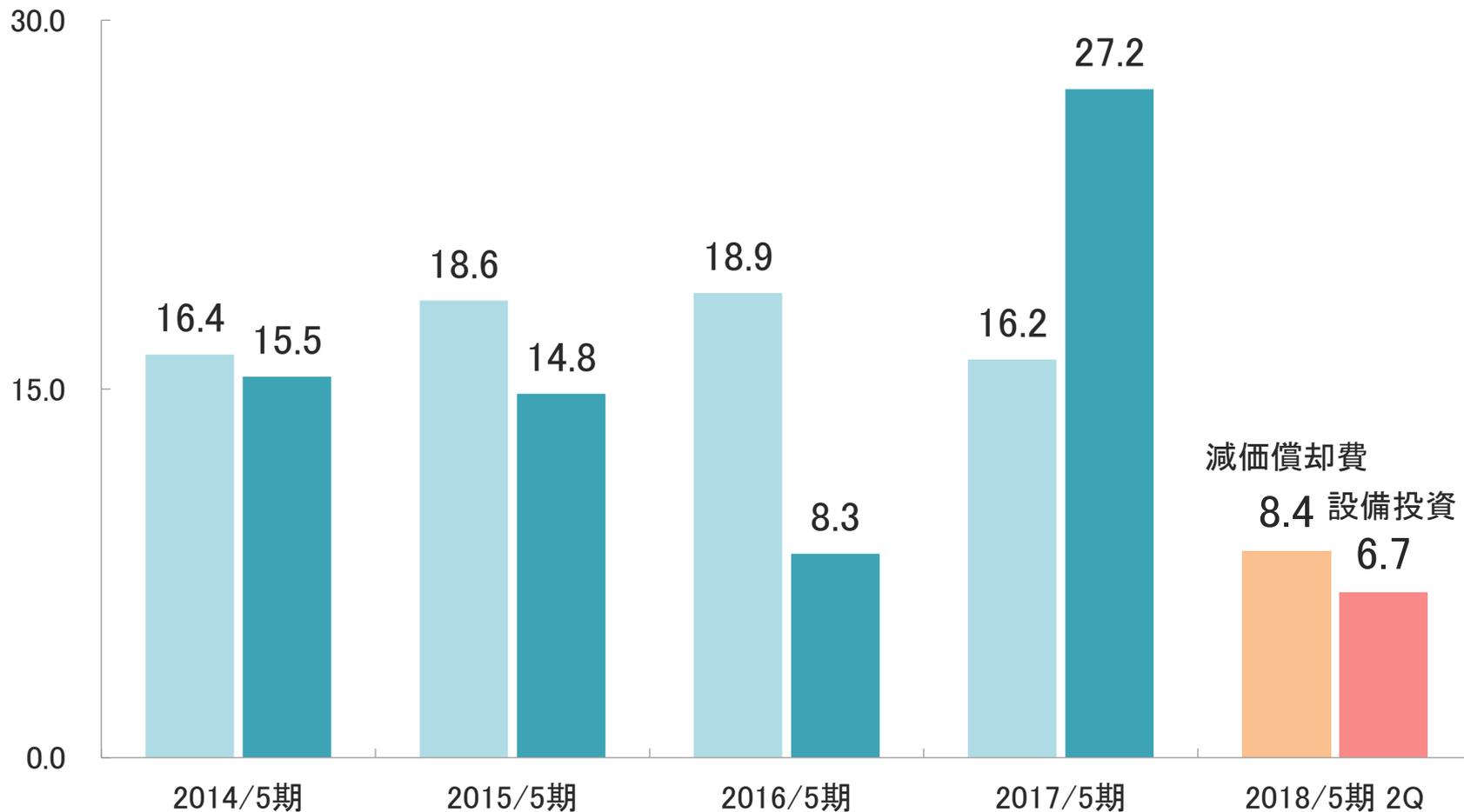
## 有価証券評価差額金

保有有価証券の時価上昇により、前期末比7億8百万円増の37億44百万円となった。

# 設備投資・減価償却費

(単位:億円)

■ 減価償却費 ■ 設備投資



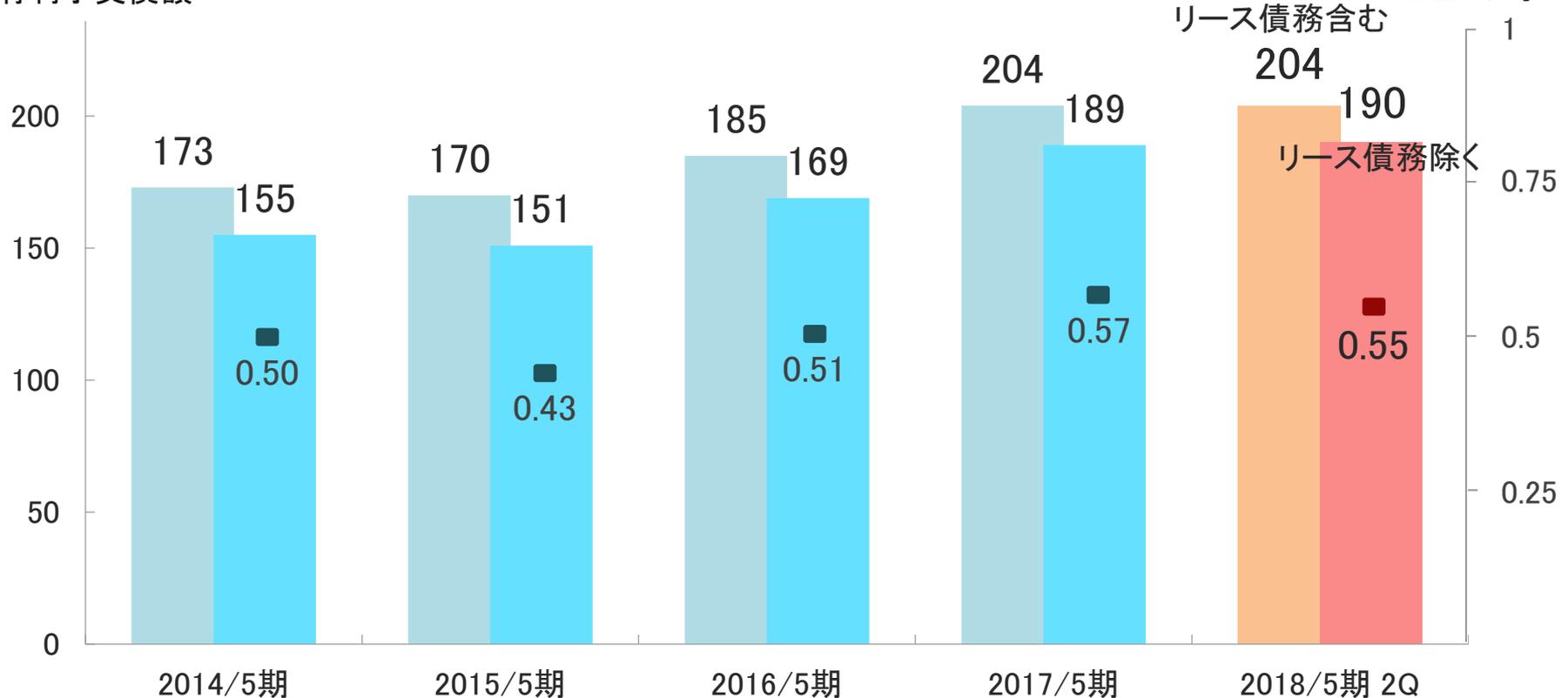
# 有利子負債

■ リース債務含む ■ リース債務除く ■ DEレシオ

(単位:億円)  
有利子負債額

(単位:倍)

DEレシオ



※DEレシオ...  $\frac{\text{有利子負債(リース債務除く)}}{\text{純資産(非支配株主持分除く)}}$

2018年5月期 連結見通し

売上高 975 億円

(前期 960億38百万円)

営業利益 28 億円

( " 12億97百万円)

経常利益 29.5 億円

( " 13億64百万円)

親会社株主に帰属する

当期純利益 15 億円

( " 26百万円)

当第2四半期連結累計期間における業績は概ね計画どおりに推移しており、2017年7月14日に発表した通期の業績予想に変更はない。

# 2018年5月期 事業セグメント別見通し

(単位:百万円)

売上高		当期	前期	前期比増減	
				(%)	(額)
	インテリア	36,920	35,410	4.3%	1,509
	自動車・車両内装	56,710	56,377	0.6%	332
	機能資材	3,710	4,087	△9.2%	△377
	その他	160	163	△2.1%	△3
	合計	97,500	96,038	1.5%	1,461

営業利益		当期	前期	前期比増減	
				(%)	(額)
	インテリア	620	720	△14.0%	△100
	自動車・車両内装	3,340	3,034	10.1%	305
	機能資材	140	125	11.1%	14
	その他	120	96	24.5%	23
	調整額	△1,420	△2,680	-	1,260
	合計	2,800	1,297	115.8%	1,502

# 株主配当について

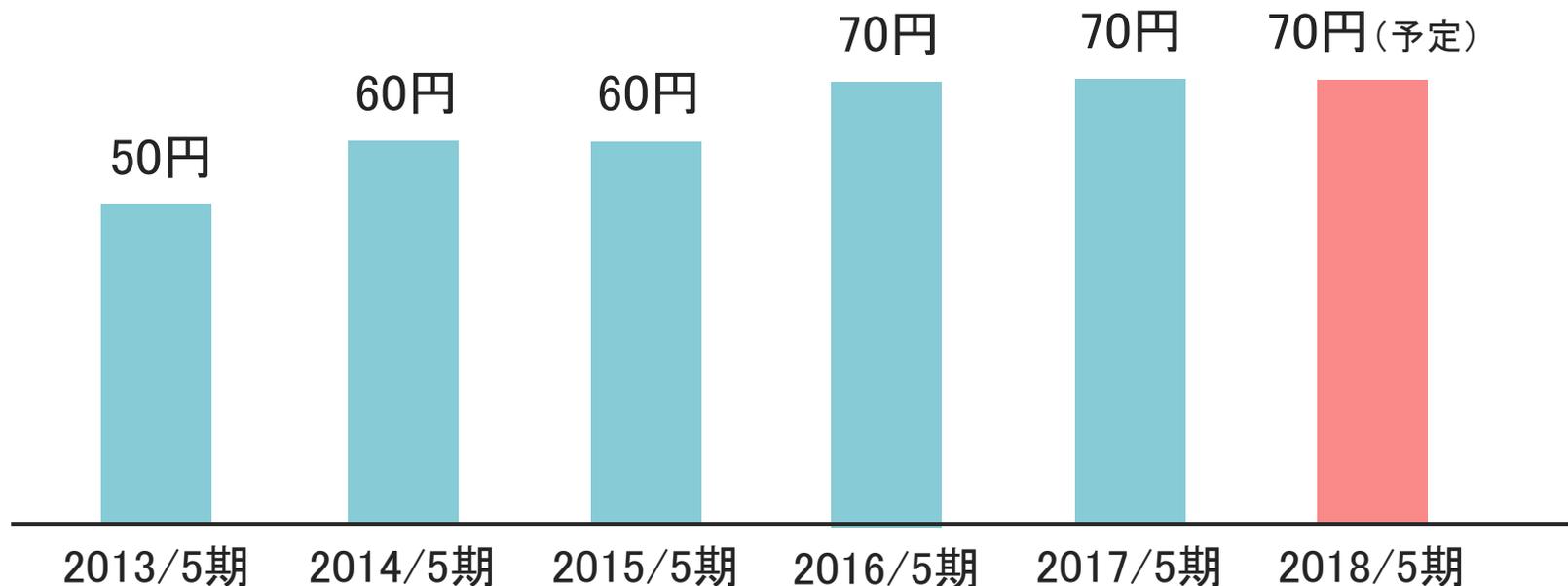
## ■ 2018年5月期について

2018年5月期の中間配当は3円50銭、期末配当は35円を予定。

※2017年12月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、期末配当は35円となる。

## ■ 配当額の推移

※株式併合後を基準に算出した数値を表示。



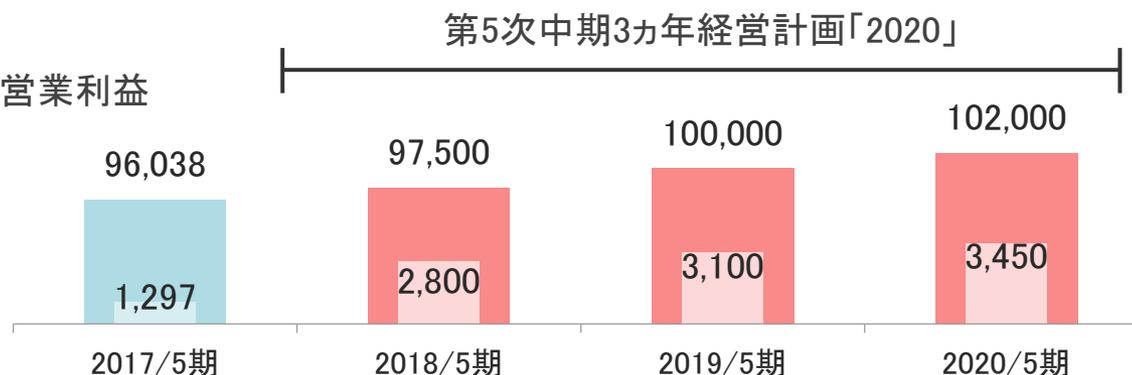
# 第5次中期3カ年経営計画「2020」

2017年6月にスタートした第5次中期3カ年経営計画「2020」では、「**企業ガバナンスの再構築**」と「**事業の成長**」という2つのテーマのもと、諸施策に取り組んでおります。

## ○連結数値目標

(単位:百万円)

■ 売上高 ■ 営業利益



(単位:百万円)

	第5次中期3カ年経営計画「2020」			
	2017年5月期	2018年5月期	2019年5月期	2020年5月期
売上高	96,038	97,500	100,000	102,000
前期比	98.5%	101.5%	102.6%	102.0%
営業利益	1,297	2,800	3,100	3,450
営業利益率	1.4%	2.9%	3.1%	3.4%
経常利益	1,364	2,950	3,350	3,750
親会社株主に帰属する当期純利益	26	1,500	1,900	2,200
ROE	0.1%	4.5%	5.5%	6.0%

◎ 中長期的な目標として、営業利益率 5%以上、ROE 8.5%以上を目指しております。

# 第5次中期3カ年経営計画「2020」

## 企業ガバナンスの再構築に向けての取り組み

### 1. 歩き回る経営

経営層が各現場に出向き、社員と直接的なコミュニケーションを図ることで、経営方針やメッセージを浸透させると同時に、現場の問題点の共有やその解決に向けた取り組みを行っております。

### 2. コンプライアンス研修

コンプライアンス意識の再醸成を目的とし、役員や幹部社員を対象とした研修や、社員へのワークショップを開催しております。

### 3. 3つのプロジェクト

社内委員会やプロジェクトなど様々な角度から、ガバナンス強化およびコンプライアンス徹底に向け、取り組んでおります。

#### ① 中堅社員チーム

「部門を超えた人材交流の活性化と問題解決力の向上」をテーマに、実務を担う中堅社員による現場のリスクの洗い出し、解決策の模索、検討を進めております。

#### ② 業務負荷改善チーム

業務負荷改善のための実態調査と改善計画の策定を進めております。

#### ③ 情報基盤整備チーム

業務の生産性向上、グローバル展開を支えるインフラ整備、内部統制の強化を図るため、基幹システムの再構築を行っております。

# 第5次中期3カ年経営計画「2020」

## 事業の成長について

国内、海外ともに自ら変革していかなければ、業容の拡大が見込めなくなっている状況下で、この3年間では、足場を固めつつ、事業の成長に向け下記のテーマに取り組んでまいります。

<p>① 取扱い商材の 拡大</p>	<p>既存のお客様に対し、取扱い商材を拡大します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 自動車向け新規商材の受注拡大と、新規部位の展開</li><li>・ インテリア市場向け高機能・高品質硬質床材の拡販</li><li>・ 非繊維を含む、車両用安全対策・環境商材の拡充</li><li>・ あらゆる機能性商材の用途開発による販売拡大</li></ul>
<p>② グローバル化の 強化</p>	<p>既存ビジネスをグローバル市場で横展開します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 日系グローバル車種の採用拡大</li><li>・ 自動車内装事業の国内でのノウハウを海外に移植</li><li>・ 海外鉄道燃焼規格に対応した新クッション材の確立</li><li>・ 国際基準に対応した消臭フィルターの開発と海外輸出</li></ul>
<p>③ 高付加価値商材 の開発・販売</p>	<p>ニーズを掘り起こし、高付加価値商材を開発し、販売します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 世界最高水準(再生材比率83%)のリサイクルタイルカーペットECOS®を国内外で拡販</li><li>・ 多様化する一般家庭向けカーペット、カーテンのニーズへの多品種小ロット対応</li><li>・ 電気暖房商材に新たな機能を付与し、差別化商品としての開発・拡販を図る</li><li>・ フィルム・ラミネート技術を応用した新規商材の開発</li><li>・ スマートファブリックの研究開発</li></ul>

# スマートテキスタイルの開発

当社は、太陽光発電繊維や布帛電極<sup>ふはく</sup>をはじめとしたスマートテキスタイルの開発を行っており、ウェアラブルデバイスとして、スポーツ業界、ヘルスケア関連、介護・医療業界等、様々な市場への展開を目指しております。

布型太陽電池



布型電極



RFID  
カーペット



水濡れ検知システム



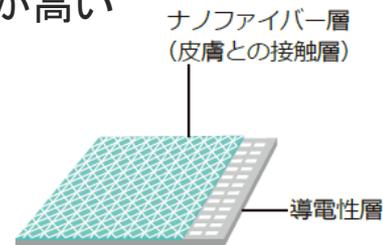
## ■ 生体情報計測センサー用布型電極

### 用途

心拍や筋肉の動き等生体情報を測定するウェアラブルセンサー

### 電極をフィルム型でなく布型にする利点

- ・肌への刺激を低減
- ・柔軟性、密着性に優れている
- ・通気性が高い



共同開発：日立造船株式会社

2018年1月17日(水)～19日(金) 東京ビッグサイトにて開催された「ウェアラブルEXPO」に出展しました。

# 新規商材の紹介

機能資材事業 スミノエバイオテック®

## 会食のお供に 柿ダノミ

近畿大学農学部との共同研究から商品化されたサプリメント「柿ダノミ」を新発売しました。

### ヒト臨床試験の結果

アルコール代謝促進作用を示す可能性があることを確認

### ヒト臨床試験後の自覚アンケートの結果

飲酒後の「だるさ」「胃のむかつき」といった悪酔いの抑制、あるいは軽減効果が望めることを確認

奈良県産柿から抽出  
柿ポリフェノール  
を使ったサプリメント!



特許製法により  
無臭・高純度タイプ

「平成28年度奈良県高付加価値獲得支援補助金ご当地食品開発事業」に採択され開発した商品です。

＼ こんな方におすすめ ＼

会食が  
多い方

やっぱり  
飲みたい方

ドリンクが  
苦手な方

2018年1月31日(水)～2月2日(金) 東京ビッグサイトにて開催される「健康博覧会2018」に出展します。

## ■ 当資料の将来見通しに関するリスク情報

当資料における当社の今後の計画、戦略等の将来見通しに関する記述は、現時点で予測可能な合理的判断に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因で異なる場合がございます。